

夏休みは海や山での事故が多くなる

事故が起きてからでは遅い
危険な所での水遊びなどはやらない
ようみんなで見守りましょう

八郷広報

No. 120 1965. 7. 15

発行所 八郷町役場
茨城県新治郡八郷町
電話(柿岡)4番
発行責任者 岩本佳之
印刷所 飯島印刷所

町の人口
男 14,672人
女 15,240人
計 29,912人
世帯数 5,662戸
(7月1日現在)

「明るく正しい選挙友の会」が発足

「きれいな選挙」を望む人ならだれでも加入できる

これまで、選挙のあるたび「きれいな選挙」が叫ばれながら、選挙違反はあとをたえません。このたび「明るく正しい選挙友の会八郷支部」が発足しました。これを機会に一人でも多くの人たちに加入してもらいたいものです。

「明るく正しい選挙」が行なわれてきれいな人が選ばれ信頼される政治や行政が行なわれることが、私たち国民個

この日は、明るく正しい選挙推進協議会委員や友の会会員約一〇〇名が出席、会の規約の決定、役員の出選などを行なった。

「明るく正しい選挙友の会」結成大会



写真は発会式であいさつをのべた役員



だれにもあげます

- 友の会の役員**
- 支部長 岩本 佳之
 - 副 田村 精
 - 理事 松崎鉄之助 中島 要
 - 市村 隆一 加藤虎太郎
 - 広瀬 政久 塚谷 源市
 - 岡野 国 江畑 一夫
 - 杉山 森一 田村 清子
 - 菊地 健一 桜井 嘉幸
 - 桜井 隆一 白井 一雄
 - 中村 隆一 糸賀 さん
 - 田中 とも 渡辺 やす
 - 真家日出子 深作美津江

第2回定例議会

可決された一般会計補正予算の中には、冷害対策として百十五万円の費用が追加された。おもな議案は次のとおりです。

畜産家への貸付けなどに 一千七百二十一万五千元

九つの議案を可決

財政事情書について

地方自治法の改正にともなう条名の改正で、条例の内容には変更がありません。

国民年金保険料の 奨励金は年二回に

これまで、保険料納入のつど交付していた奨励金を、年二回にわけて交付することに決めた。

町道の一部を変える

下林地内と互会地内の町道の路線を、町民の申し出により関係者の承諾をえて一部を変更及び廃道としました。

「地方選出候補者の得票」

中村喜四郎 四、四八七票
大森 創造 二、四〇八票
鈴木 一司 二、〇三九票
沼田 秀郷 一七四票
無 効 四一八票

農業共済特別会計 補正予算

歳入……共済掛金、交付金八千円です。

「地方選出候補者の得票」

振興のため、興農資金の貸付け及び返還のための経費一千四百七十一万五千元。

全戸の家屋を 調査します

今月から十一月ごろまでの間、家屋の実地調査を行います。

「地方選出候補者の得票」

軽自動車税の対象となる車



「明るい選挙」を呼びかけ 柿岡商店街をパレード

友の会のつとめ

この「明るく正しい選挙友の会」の会員はきれいな選挙をねがう同志の集まりです。

会員は選挙運動も 政治活動も自由

友の会に入会すると選挙の話も運動もできないのではないかと、と考えている方もおられるようですがそれは誤りです。

参院選 前回より悪い投票率 少なかった婦人の投票

町の「明るく正しい選挙推進協議会」は、七月四日の参議院議員選挙を前に「明るく正しい選挙友の会」を結成して「きれいな選挙」と「棄権の防止」に

参院選投票状況調

性別	有権者	投票者	投票率%
男	8,213	5,225	63.6
女	9,175	4,301	46.9
計	17,388	9,526	54.8

車を買っても 売っても届出を

皆さんが軽自動車などを買ったり、売ったりしたときなど、すぐに届出をしていく必要があります。

「父子契約」40戸を目標

積極的に進めるため協議会つくる

「新しい家づくり」の父子契約運動を進め、親共々の働きが、ある明るい円満な家庭づくりをすすめることは、四月の広報でお知らせしましたが、この父子契約を積極的に進めるため、協議会をつくることになりました。

この推進協議会は、「農家の構造改善と農業後継者の地位向上」、「実践力のすぐれた後継者を育成」、「近代的な明るい家庭を確保すること」を目的として推進するたため、町長はじめ、農業委員会、農協、各種団体の代表者と協議会をつくることになりました。

協議会役員

会長	吉田 次郎
副会長	滑川 好道
委員	原田 孟

協議会役員

会長	吉田 次郎
副会長	滑川 好道
委員	原田 孟



イモチの被害を受けた今橋さん(小幡)の稲

冷害とりかえした稲

冷害で生育の遅れた稲も、その後の天候で多少もりかえしましたが、まだ安心はできません。これから気をゆるめず、稲の状態をみて対策につとめましょう。

葉イモチ病

今年の異常低温にともなう、イモチ病の多発が予想されていたが、さいきん気温の上昇と雨がちの天候が続いたので葉イモチ病が八郷町全域にわたって発生した。今まで日照時間も少なく、稲がやわらかく育っているため、このまま進むとまん延のおそれがある。雨がりを待って病気の軽いうちに、早く防除につとめてください。

防除の方法

これから発病しようとする稲は、葉イモチ病の多発が予想されていたが、さいきん気温の上昇と雨がちの天候が続いたので葉イモチ病が八郷町全域にわたって発生した。今まで日照時間も少なく、稲がやわらかく育っているため、このまま進むとまん延のおそれがある。雨がりを待って病気の軽いうちに、早く防除につとめてください。

するのを予防するには、有機水銀剤の液剤(水銀10アール当り3キログラム)を散布する。また、かなり発病をしている場合は治療剤としてブラエス製剤(水和剤、粉剤)を散布すると効果がある。

なお、冷水の流入やチソ質肥料の追肥は、発病を促すことになるので注意しましょう。

イモチ病菌が多いこと、異常気象によって稲が軟弱に育っていることなどから、出穂のころ雨が降ったり、やや涼しい気温だったりすると発病します。とくにチソ過多の稲は十分注意してください。

今年には穂首イモチ病も多く発生するとの予想ですから、出穂前ごろの気象や生育状態などに十分注意し、防除してください。

防除の方法……葉イモチ病のときの防除薬をややおおめに散布する。また穂首イモチの場合は、発病してからでは間に合いませんので、出穂直前に散布する。

発病のおそれのある水田では、出穂直前と、穂が少しでたころの2回散布することです。なお、水をあまり早くから落とすと発病しやすいので、乾田では出穂してから1カ月ぐらひは水を落さない方がよい。

(思わず顔もほころぶ一掃岡支所で)



冷害克服し「春蚕大豊作」

初秋蚕は5~6割の掃立てを予想

冷害の心配された春蚕は、掃立ての遅れや掃立量を少なからずみられた。これは、掃立をおくったことによつて桑がよく育つたこと、天候に恵まれたことなどによるもので、町内飼育農家六五二戸で約四千万円の収入をもたらしました。

しかしながら、まだ喜ぶわけにはいきません。現在桑の生育が遅れているので、初秋蚕は約五~六割位しかできず、養蚕家にとって大きな減収が見込まれています。

初秋蚕、晩秋蚕も冷害が少なく、養蚕家の豊作であることは、春蚕の豊作であることと同様です。

父子契約

父子契約の中には、
 ◎こづかい契約、◎賃金契約、◎経営譲渡契約、◎集団契約など、いろいろ経営内容にあった契約がありまが、その一つ一つについて詳しく書いてみます。

◆こづかい契約
 個人個人の農業経営内容により収入などが違いますが、親と子が話し合いのうえ、月または年何回とか、あるいは必要に応じ、そのつと額をいくらと定める方法です。

◆賃金契約
 家庭の年令、性別、農業経営上の地位、農業経営の状況などによって、一定の金額を毎月支給する。

◆歩合制
 農業経営の一部門(養蚕、果樹、特用作物など)の販売代金の中から一定の割合の現金が現物を支給する。

◆雇傭契約制
 家族構成の労働力について評価し、その労働日数に応じて賃金を支給する。

この場合、農地相続その他資本投下のことなどの「延べ払い」も認められる。

親子ともお互に個人の立場を認め合い、話し合いを中心にして賃金契約が行なわれています。

農業委員会では、農地法の規定により毎年八月一日現在において、皆さんの耕作する面積、家族の状況、農機具、家畜、山林などの所有面積を申告していただくことになっております。

この申告は全耕地の一筆ごとの申告を略し、昨年の八月一日からこの日の七月三十一日までの間に農地を売ったり、買ったり、小作地を返したり、返して貰ったり、あるいは宅地にしたりした土地について、申告していただきます。また、家族の中で移動がありましたら、同時に申告していただきます。

8月1日現在で「耕作地の調査」大切な資料にします

農業委員会では、農地法の規定により毎年八月一日現在において、皆さんの耕作する面積、家族の状況、農機具、家畜、山林などの所有面積を申告していただくことになっております。

茨城県警察官募集

採用予定人員 約一四〇名
 受験資格
 (1)高校卒業程度の学力を要します
 (2)昭和15年4月2日から昭和23年4月1日までに生まれた男子

試験の日時
 (1)日時 昭和40年9月5日(日)午前9時から
 (2)試験地 水戸市(茨城県警察学校)、土浦市、日立市、古河市、下館市、鉾田市の各警察署

県民総合体育大会(青年の部)都市別大会

趣旨
 毎日の勤務に精進するかたわら、健康で文化的な生活を樹立するため、余暇の善用によってスポーツ・レクリエーション大会を開催して、健全な郷土社会の建設に寄与する。

主催
 茨城県教育委員会、茨城県体育協会、茨城県青年団協議会、その他

期日
 8月1日(日曜日)小雨決行、雨天順延

会場
 玉里中学校(玉里村)

種目
 青年の部 ◎陸上競技…60m、100m、400m、1,500m、5,000m、400mリレー、800mリレー、走幅とび、三段とび、砲丸投、その他
 ◎バレーボール、◎卓球、◎柔道、◎剣道
 一般の部 ◎テニス、◎弓道、その他

その他
 この大会は、県大会及び全国大会の予選をかねます。これまで総合優勝は陸上競技の成績で決めたが、今年からバレーボール、卓球などの成績も含めて決定されます。

心配ごと相談日
 8月4、11、18、25日(毎週水曜日)
 午前10時から午後3時まで八郷公民館で行ないます
 気軽においでください

七月の納税
 固定税 第二期
 国保税 第二期
 国民年金保険料 四、五、六月分



スポーツ教室
 キャンプコース参加者募集

主催 八郷町教育委員会
 期日 8月5日~8日
 出発 8月5日夕、帰着 8日夕
 場所 北アルプス 横尾キャンプ場
 募集人員 40名(定員になりしだい締切り)
 コース 女性向、一般向、健脚向の3コース
 会費 3,000円(交通費その他を含む)
 申込先 教育委員会、公民館、体協山岳部

農繁期の子どもあづかる

今年も2カ所で季節保育所



(保母さんと元気に遊ぶ子どもたち)

下林区(区長鈴木武夫氏)では、さる6月10日から20日間手接尊境内で「双葉園季節保育所」を開設しました。季節保育所は農繁期を働きやすいように、子どもたちを一時あづかることを目的に春、秋の2回行なっているものです。下林、飯塚、根小屋部落からあづかった30名の子どもたちは、保母の鈴木さん、矢口さんのお骨折りで、仲良くブランコやボール遊び、遊ばせなどをして、楽しく遊びました。父兄からは「子どもたちを、ただあづかってもらうだけでなく、集団生活の習慣をうえつけてもらえる」と好評です。このほかに町内では、川又季節保育所を開きました。

児童生徒の非行防止に

『学校警察連絡協議会』つくる

六月二十三日午後一時三〇分から、柿岡小学校講堂において、町内小中学校、高等学校、警察などの関係機関の代表者が集まり「八郷町学校警察連絡協議会」を結成し、会則、役員などを決めた。

達成するための事業

役員

会長 杉山森一(教育長)
副会長 桜井隆一
(柿岡警部派出所長)

『青少年相談員』が誕生 問題解決と指導にあたる

青少年対策の総合的な推進をはかるため、県は全市町村に「青少年相談員」を設置することになり、町にも森光男氏ほか三名の相談員がうまれました。

青少年相談員

森 光男(柿岡)
小林 幹雄(下林)
足立作右門(小屋)
中田 虎雄(大増)

そこで、会則を決めたり、会長、副会長を選んだあと、この会の目的を達成するため次のような事業を決めた。

①児童生徒の非行防止対策の樹立とその実施
②非行をおかし、または、おかしおそれのある児童生徒(非行児童生徒)の早期発見とその連絡
③非行児童生徒の補導についての連絡協議

青少年対策の総合的な推進をはかるため、県は全市町村に「青少年相談員」を設置することになり、町にも森光男氏ほか三名の相談員がうまれました。

相談員の資格としては、町内に住居を有し、四〇歳までの年齢で、住民に信頼があり、広く青少年の実情に通じ、青少年に対する深い理解のある人たちということ。町と石岡警察署が話し合いを行ない、次の方々に相談員になっても

②青少年団体の指導と組織化



『青年祭』盛大にひらく

120名が参加して熱演

町青年団では、さる6月27日午前10時から八郷公民館において、青年祭を開き120名が参加しました。青年祭は「町に住む若い人たちの親睦を図る」ことを目的に開いたもので、町長、教育長、その他来賓の見守る中で、剣舞、コーラス、劇など、各地区支団とも30分の持ち時間をいっぱい使って熱演しました。演劇は午後2時30分までつづけられ、終了後、参加した男女青年たちは、公民館いっぴい輪になって、フォークダンスなどを楽しく踊る。このあと卓球などを5時まで行ない、青年祭は成功のうちに終了した。(写真は、柿岡・林支団のジェスチャー対抗試合)

消防団長に 長谷川氏が昇格

さる六月、消防団長友部三男氏が八郷農協専務の仕事に専念するため、消防団長を勇退されたので、その後任について人選の結果、消防団長に長谷川保氏が選ばれました。

新しい役員

団長 長谷川 保
副 手賀 寧
第一区団長 吉田 広司
第六 谷中 誠

国民年金の納期が 七、九、十二、三月に

さる六月二十四日開かれた定例議会において、国民年金保険料納入奨励に関する条例の一部が改正され、奨励金の交付が年二回になり、納期が変わりました。

奨励金が年二回

国民年金奨励金百分の五はこれまでそのつと支払ってききましたが、改正により四月から九月までの奨励金をその年の十月に、十月から翌年の三月までの分を三月に支払うことになりました。このことから、組合長さんが年度途中で交代したときは、「組合長変更届」を提出

食生活改善のリーダーに 養成講習生30名が受講

第三回食生活改善推進員養成講習の開講式が、さる六月二十九日老人福祉センターに講習生三〇名が出席して開かれた。この食生活改善推進員養成講習も今年で三年目を迎えました。講習は、月一、二回で十二課程にわたり行ないますが、内容は保健康、妊娠婦食、離乳食、子ども食、高血圧食、保存食などの実習と、公衆衛生、母子栄養、養育期の栄養、成人病と栄養、経済と栄養の理論などです。

(写真は講演する石岡保健所長)



「小桜第二小」を 「朝日小」に変更

小桜第二小学校(校長太田豊氏)では、校名を変更、七



建設メモ

- 揚水場設置(片野地内=写真=) 工費 136万円
- 農道工事(半田地内) 幹線延長 707.4m、幅 3m 支線延長 2,049.5m、幅 2.2m 工費 185万円
- 高田堰(鯉岡地内) 長さ 8m、幅 3m、高さ 1.2~1.5m 工費 51万4千円
- 石田堰(浦須地内) 長さ 5m、幅 1.5m、高さ 1m 工費 12万7千円
- 中沢堰(小幡地内) 長さ 5m、幅 2.7m、高さ 1~1.3m 工費 18万8千円

『明るい心』 筑波スカイライン撮影会

推薦に大島さん

すでに完成した新しい道路や景勝地をバックに美しいモデルを囲んで、自慢の腕を發揮した。

応募作品は六〇点ありましたが、審査の結果、会員の部と一般の部の入賞者が次のように発表された。また入賞作品は、のちほど一般に公開される予定です。

会員の部

推薦 大島汎海(柿岡)
特選 鈴木充雄(瓦谷)
特選 足立修身(川又)
準特選 笹沼登(下林)
入選 鈴木充雄(瓦谷)
入選 坪井貞夫(柿岡)
入選 鈴木充雄(瓦谷)

佳作

那須省三(柿岡)
坪井貞夫(柿岡)
藤岡忠夫(小見)

一般の部

入賞 飛田 清(柿岡)

吟詠大会ひらく 会長に藤代氏

第四回八郷町吟詠大会が総会をかねて、さる六月二十七日、八郷高校講堂に会員二二〇名が出席して開かれた。午前八時三〇分、吟詠大会にさきだち総会を開き、役員などを決定した。

ひきつづき吟詠にうつり、「金州城」などお馴染みの詩が次々とて、講堂をうめつくした会員をうならせた。

▽会長藤代達 ▽副会長小林幸次郎、土田太恵

『家庭の日』標語募集

趣旨 家庭は、あすまた元気に働こうという気力をうみだすいい場所であるとともに、次の時代をになう青少年をすこやかに育てるための大切な場所です。

募集要項 ①一般の部……郵便ハガキを用い1枚につき1点を記入すること。1人何点応募されてもさしつかえありません。

賞品・賞金 ①一般の部……入選 5名 各 2,000円 佳作 10名 記念品

送り先 水戸市北三の丸 茨城県青少年室

入選発表 9月13日(月)県報に発表します。入選者には別途通知します。

その他 同一作品多数の場合は、抽選によって決定します。応募作品は返却しません。

みんなで築こう明るい家庭

七月から第三日曜日は『家庭の日』

家庭は青少年を健全に育成したり、明日働くエネルギーをつくりだしたりするところです。七月から毎月第三の日曜日を『家庭の日』

八郷町社会を明るくする運動実施委員会では、さる六月二十五日の会議で、七月から毎月第三日曜日を『家庭の日』として、家庭での話し合い、団らんの日とする事に決まりました。

“話しがはずむ” 夕食のひととき



(写真は柿岡の込山さんの家庭)

明日を元気に働くための気力をつくりだすためにも、『家庭』は大切な場所であり、次の時代を明るく健康的で、平和な社会とするため重要な役割を果します。

町内中学陸上競技大会開く

少差で南中が優勝

恒例の町内中学陸上競技大会が、さる六月十八日柿岡教



男子 100 種目別優勝者 助川末広(南中) 二百 田中留蔵(芦

役場チーが優勝 第16回市町村対抗野球選手選会

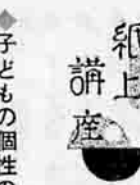
俳句 中戸 大岡 木堂 「山中温泉にて」

俚謡 林嶺月選 朝よりひらきそめたる花しよ

無理のない計画表に 子どもたちにとって待ちどしした夏休みがやってきました。規則的な学校生活から開放される子どもたちは、とすれば、無計画で不規則な生活になりがちです。

夏休み40日間は

“休養と健康に”



子どもの個性のばす

この夏休みには、学習のおくれをとりもどす。上級学校入試に備える。一つの科目を系統だててほりさげる……

丈夫な体をつくる

生活することが学習である。夏休みは、丈夫な体、ゆたかな情操を養うチャンスです。

暮しのメモ

日射病と熱射病

直射日光はさける

長かった梅雨もあけて、強い日射しの中で仕事に励む日々がやってきました。そこで日射病と熱射病の話をしてしま